

千葉大学環境健康フィールド科学センター

心身一如のケアを目指して

- 生きがい、心と身体、自然を大切に -

- なぜ環境健康フィールド科学か？
- 問題解決のキーワードと方針
- 本センターの理念と課題
- 本センター組織・施設の概要
- 本センターにおける研究課題例

2003年9月16日

センター長：古在豊樹

21世紀には、物質的、経済的側面だけではなく、真の意味での豊かさが求められています。

21世紀は、「環境の世紀」であり、「心の時代」です。

環境と心を大切にすることは、先端的技術の発展だけでは実現しません。

現代都市におけるストレスの諸側面

- 少子高齢化
- 競争原理強化
- 社会規範崩壊
- 廃棄物の増大
- 自然喪失
- 資源枯渇
- 医療費上昇
- ふれあい喪失
- 犯罪増加
- 環境汚染
- 食の不安
- 生きがい喪失

現代都市に地方・田舎
の良さと東洋の伝統
文化技術を取り入れて、
新しいタイプの環境
健康都市に変えよう。

地方・田舎
里山・自然・みどり
ゆとり・園芸生産
農業・祭り・伝統
共同体・共生
食料生産

環境健康
都市

東洋の思想
と知恵

人間は
自然の
一部

問題解決のキーワード



環境、健康、共生、生きがい創出、
心身一如、機能性植物

心身一如：心と身体の同時ケア

機能性植物：

健康植物：薬用植物、野菜、果物、ハーブ

環境植物：景観植物、花、環境浄化植物

問題解決のキーワード



環境、健康、共生、生きがい創出、
機能性植物、心身一如

- 東洋医学、環境科学、環境園芸学、教育学、看護学等を統合した環境健康総合科学を創生して、自然、生命、人間の心と身体を大事にする、暮らしやすい社会を構築する

環境健康フィールド科学センターの理念

- 高齢者・子供・弱者・次世代が健康になる環境の創造
- 心身一如の健康、福祉、介護、教育、生産を実現する共生社会の創造
- 自然の治癒力・生命力を活かした健康、物質循環、省資源、環境保全、文化創造、生物生産ならびにそれらを体験する喜びの実現
- 地域・産業交流にもとづく実践的研究教育および人材養成

組織・場所・施設の概要

➤ 組織

教員62人(専任15人)、技官10人、他8人
(兼務教員47人:医学部、附属病院、薬学部、教育学部、看護学部、園芸学部、工学部、自然科学研究科)、文学部、法経学部、理学部

センター長
副センター長2名
運営委員会



兼務教員 専任教員 共同研究員

環境健康総合科学部門

都市環境園芸学部門

看護学部、工学部、
医学部、病院、
教育学部、薬学部、
園芸学部

ケアセンター

診療所

企業
自治体
各種組織

販売所・相談所

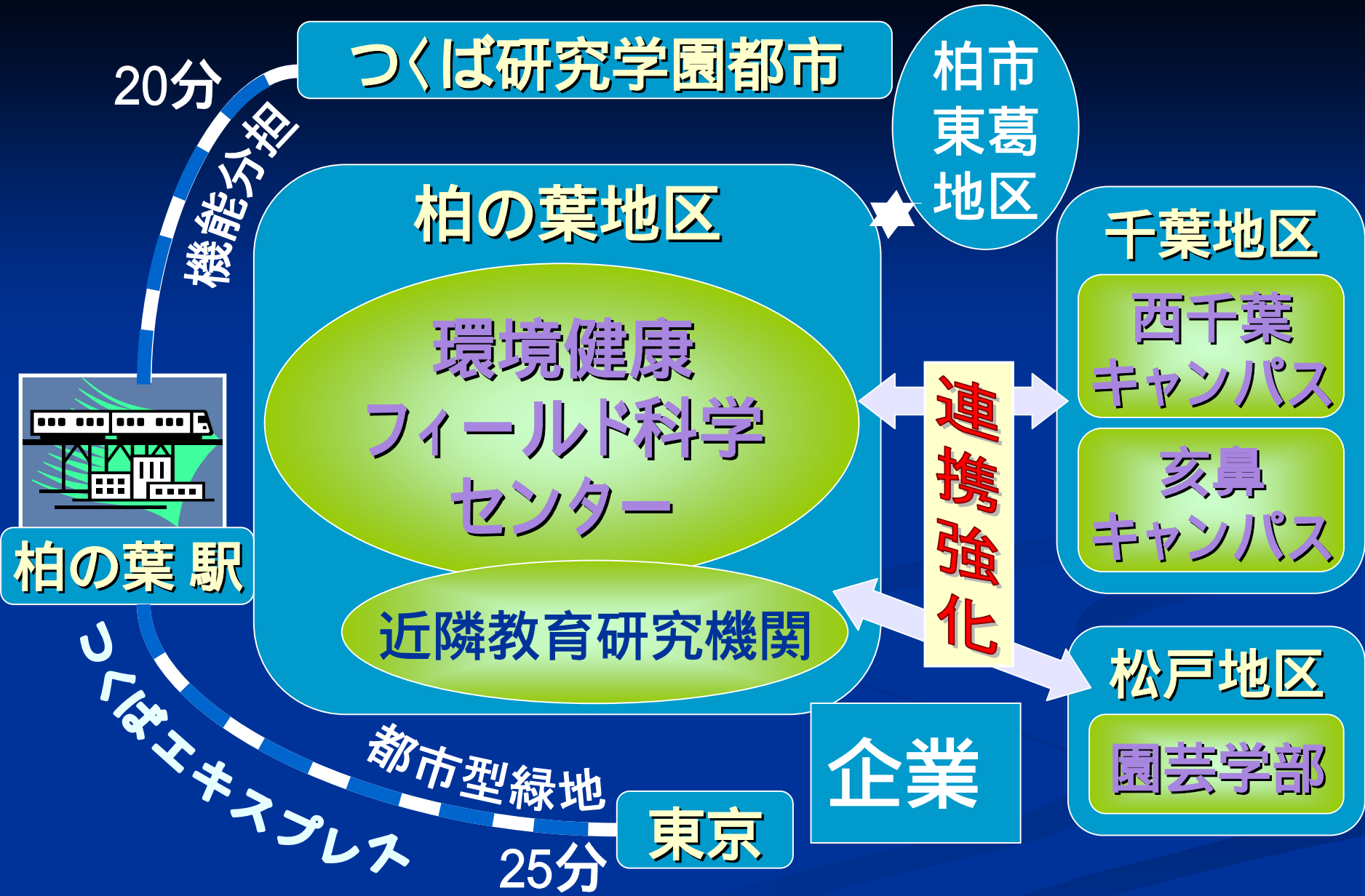
組織・施設の概要

➤ 組織

教員60人(専任15人)、技官10人、他8人

➤ 場所

柏の葉地区(17 ha)、つくばエキスプレスの駅前、他2ヶ所



千葉大学・柏の葉地区の立地と連携環境



市民向け環境教育(柏の葉キャンパス) 12



園芸生産の現場(柏の葉 都市環境園芸農場)



千葉大学 柏の葉キャンパスにおける農場祭

組織・施設の概要

➤ 組織

教員**60**人(専任15人)、技官10人、他8人

➤ 場所

柏の葉地区(17 ha)、つくばエクスプレスの駅前、他2ヶ所

➤ 柏の葉地区施設(予定)

研究棟、管理棟、診療所、ケアセンター、温室、各種研究施設、生産物販売所、園芸作業所等



イメージ写真 1



イメージ写真 2



イメージ写真 3

当面の研究課題例(1)

- 東洋医学的病気治療の客観的評価法
- 自然治癒力回復支援プログラムの標準化
- 胎児期化学物質暴露のリスク評価法の開発
- 芳香成分の人体への作用機構の解明と利用
- 薬用植物の増殖・生産技術の開発と利用
- 園芸生産システムのユニバーサルデザイン

作業療法
園芸療法
音楽療法
芳香療法

環境教育
食農教育
自然教育
園芸教育

健康

生きがい

環境

心身一如

園芸作業

安らぎの緑空間
冒険空間

機能的植物
機能的食品
漢方薬

東洋医学、薬学、園芸学、看護学
環境生命医学、教育学、工学

医食同源・食農教育とユニバーサルデザインの実現

ユニバーサル・デザイン

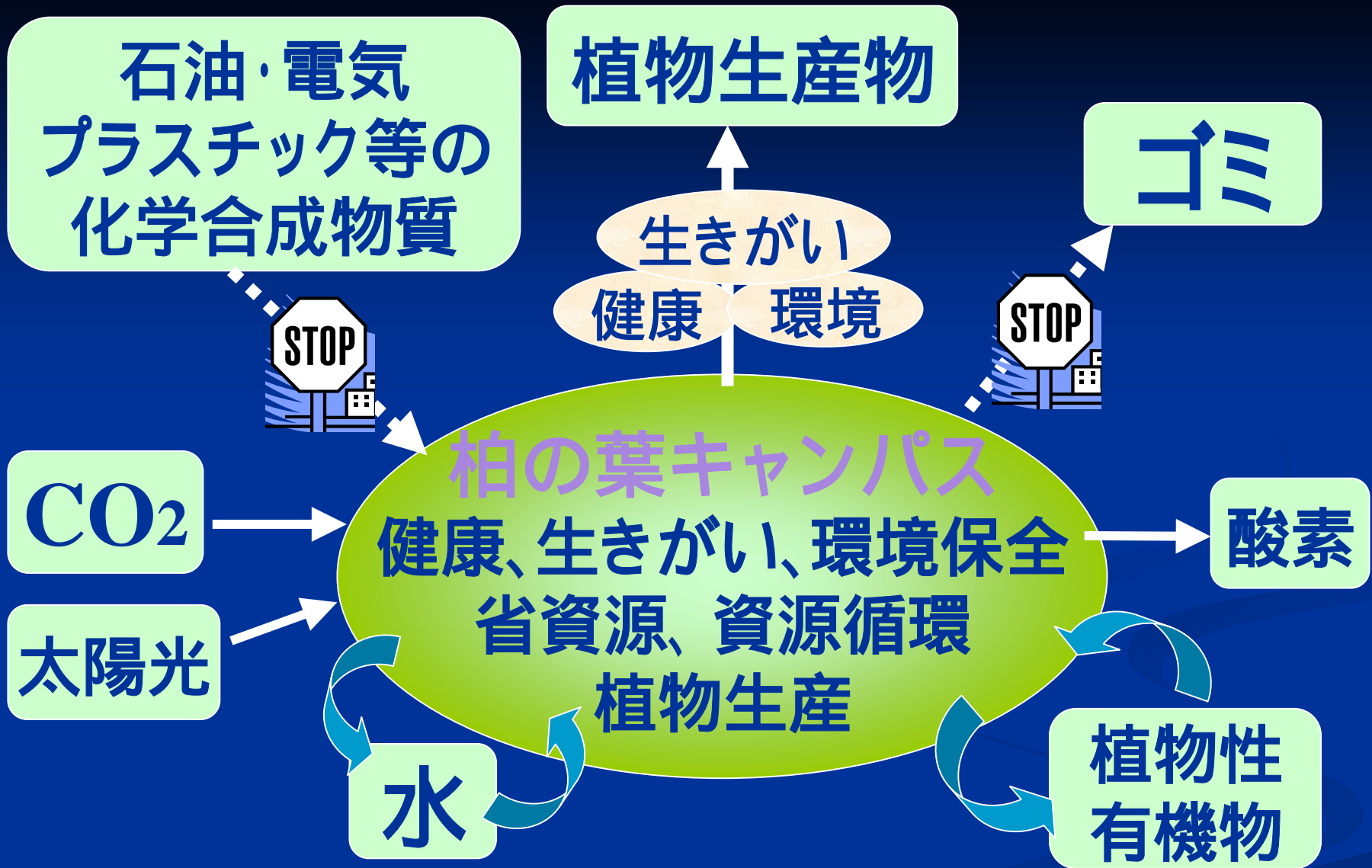
能力、年齢あるいは障害のレベルにかかわらず、最大限可能な限り、全ての人々に利用しやすい、システム、環境、空間、道具、装置、製品等のデザイン。

例

環境デザイン、大学キャンパス、園芸生産システム、温室、診療所、ケアセンター、各種作業道具



植物利用・資源循環による健康・生きがい創出と省資源・環境保全の同時実現



柏の葉キャンパスのゴミ・ゼロ・エミッションと
健康・生きがい創出の同時実現

微量多成分が人間の心と身体におよぼす影響

漢方薬

機能性野菜

いのちを
育む作業

各種のバリアー

内分泌かく乱物質

人間の
心と身体

香り

機能性食品

ユニバーサル
デザイン

安らぎ緑空間

環境汚染物質

アレルギー物質

本センターの研究課題(1)

- 東洋医学的治療・介護への植物・自然とのふれあい効果の導入ならびに健康予防医学、環境教育、園芸療法の実践
- 健康機能植物の増殖・生産・育成・活用
- 介護・リハビリ、植物生産などの施設・設備のユニバーサル・デザインとその利用
- 作業者の生きがい創出と健康増進を重視した植物生産システムの開発

本センターの研究課題(2)

- 植物生産・資源循環を取入れた環境園芸都市における省資源と環境保全
- 先端的技術も取り入れた省資源・環境保全的都市型環境園芸システムと植物品種の開発
- 環境政策、福祉・介護政策、環境会計

当面の研究課題例(2)

- 都市近郊における里山再生と地域経営
- 花き植物を用いた屋上緑化・建物緑化
- 植物栽培による湖沼の水質浄化
- 省資源・環境保全のための閉鎖型高品質植物生産システムの開発
- 実践的環境・園芸教育プログラムの開発
- 植物残渣の循環利用とゴミゼロエミッション

千葉大学 環境健康フィールド科学センターでは、

千葉大学の多くの分野の専門家が
産業・行政・地域の皆様と一緒に、
心と身体の健康と豊かな環境を創造するた
めの環境健康総合科学とその実践に
努力します。

皆様のご協力、ご支援ならびにご指導をお
願い申し上げます。